


captiOnline(キャプションライン)は、筑波技術大学産業技術学部産業情報学科 コミュニケーションサポート研究グループの若月 大輔先生が作成した、ウェブを用いてオンラインで文字通訳(要約筆記)を行うことができるウェブサイト(無料)のことです。アプリやソフトのダウンロードは不要で、パソコン、スマホ、タブレットからサイトのページにアクセスするだけで文字通訳を行うことができます。

captiOnline で文字通訳を行う際の入力方法として、①タイピングによる連係入力と②音声認識による入力の2つがあります。今回は、特別な知識や技術がなくても利用しやすい②の使い方についてお伝えします。①については、詳しい解説がありますので下記をご覧ください。

[captiOnline 利用ガイド](#)

captiOnline を初めて使う方のために、お試しページがあります。まずは、このお試しページを使って、音声認識による captiOnline の使い方について説明します。

専用ページにアクセスする

GoogleChrome から <https://capti.info.a.tsukuba-tech.ac.jp/>にアクセスすると、のような画面が表示されます。お試し部屋の captiOnline3 をクリックします。

ウェブを活用した聴覚障害者のための情報保障実験サイト

ここは？

HTML5とJavaScriptを使って聴覚障害者に対する情報保障を行うための実験用ウェブサイトです。現在は文字通訳機能を持つcaptiOnlineを公開しています。

captiOnline

ウェブブラウザを用いて連係して文字通訳を行うためのウェブページです。

captiOnlineを定期的にご利用するための**専用部屋を作って欲しい等の相談**もお受けいたします。お気軽に若月（本ページ末参照）まで問い合わせください。
2020/04/10 通常版をcaptiOnline2, 開発版をcaptiOnline3に改名しました。

captiOnline2は文字通訳に必要な機能の他、手書きの絵を投稿する機能を備えています。とcaptiOnline3は文字通訳に必要な機能の他、音声認識や文字

マニュアル等

- [captiOnlineの使用方法（入力者版）](#) (2014/08/12公開) パソコン文字通訳者会ubiquitous様からご提供いただきました。
- [CaptiOnlineの文字の大きさ変更](#) (2018/11/16公開) NPO法人ゆに様からご提供いただきました。
- [CaptiOnline 通常版\(入力パネル\) 簡易操作説明](#) (2018/11/16公開) 認定NPO法人長野サマライズ・センター様からご提供いただきました。
- [CaptiOnline 入力パネル\(開発版=音声認識同梱\)](#) (2018/11/16公開) 認定NPO法人長野サマライズ・センター様からご提供いただきました。

※皆様からのマニュアルや利用法などの情報提供は非常に助かります！

公開中の部屋

■お試し部屋 ※captiOnlineのお試しや、動作確認などにご利用ください

- [captiOnline2 rp \(リバースプロキシ使用\)](#)
- [captiOnline3](#)

アイコンを選ぶ

入力者（音声認識を使って発言する人）は入力者ページのキーボードアイコン（赤丸）、閲覧者（文字情報を見る人）は利用者ページのアイコン（青丸）をクリックします。

情報

Room: tmp

Connection: 0[00|00|00|00]

利用者ページ



← 閲覧者(文字情報を見る人)

入力者ページ



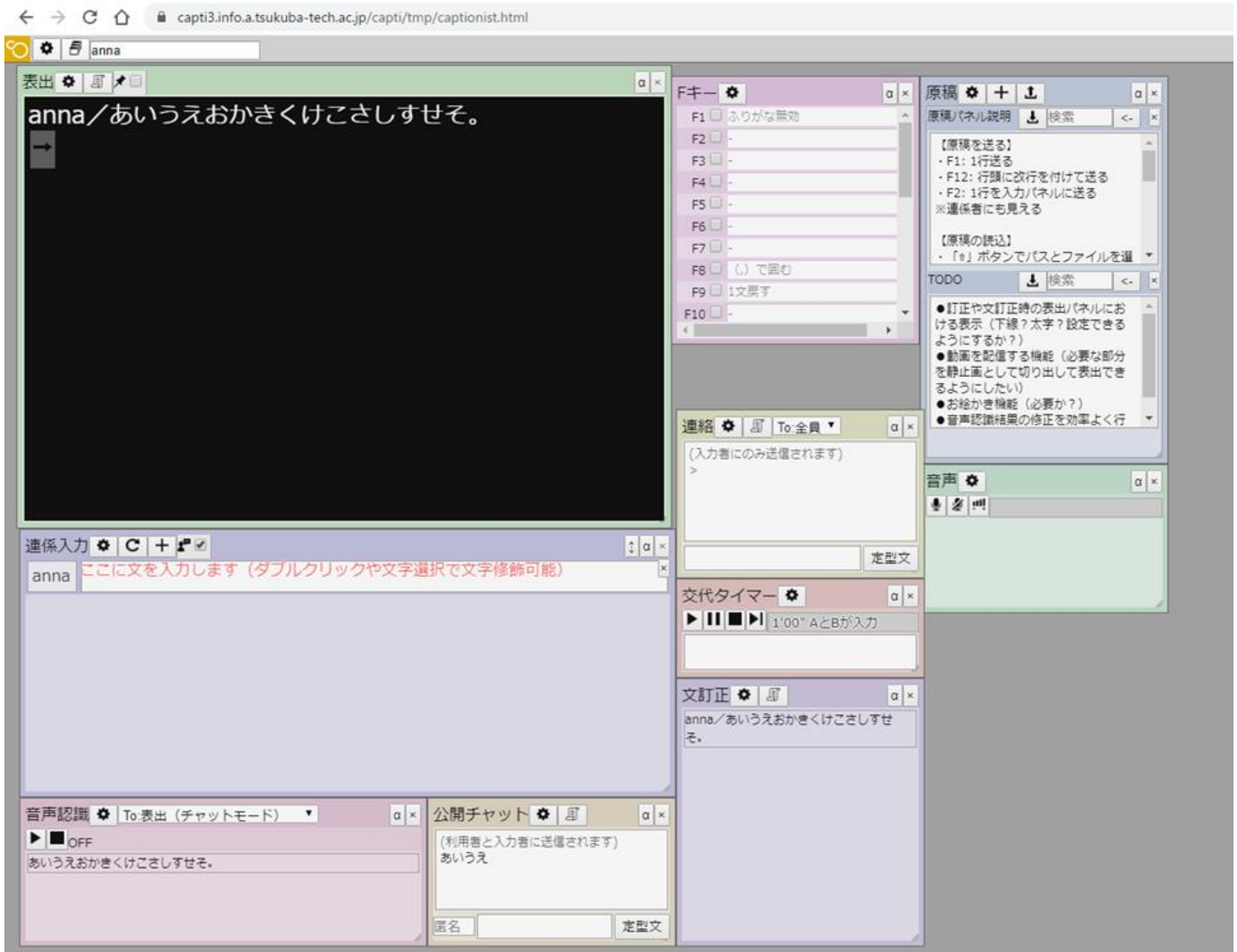
← 入力者(音声認識を使って発言する人)

管理者ページ

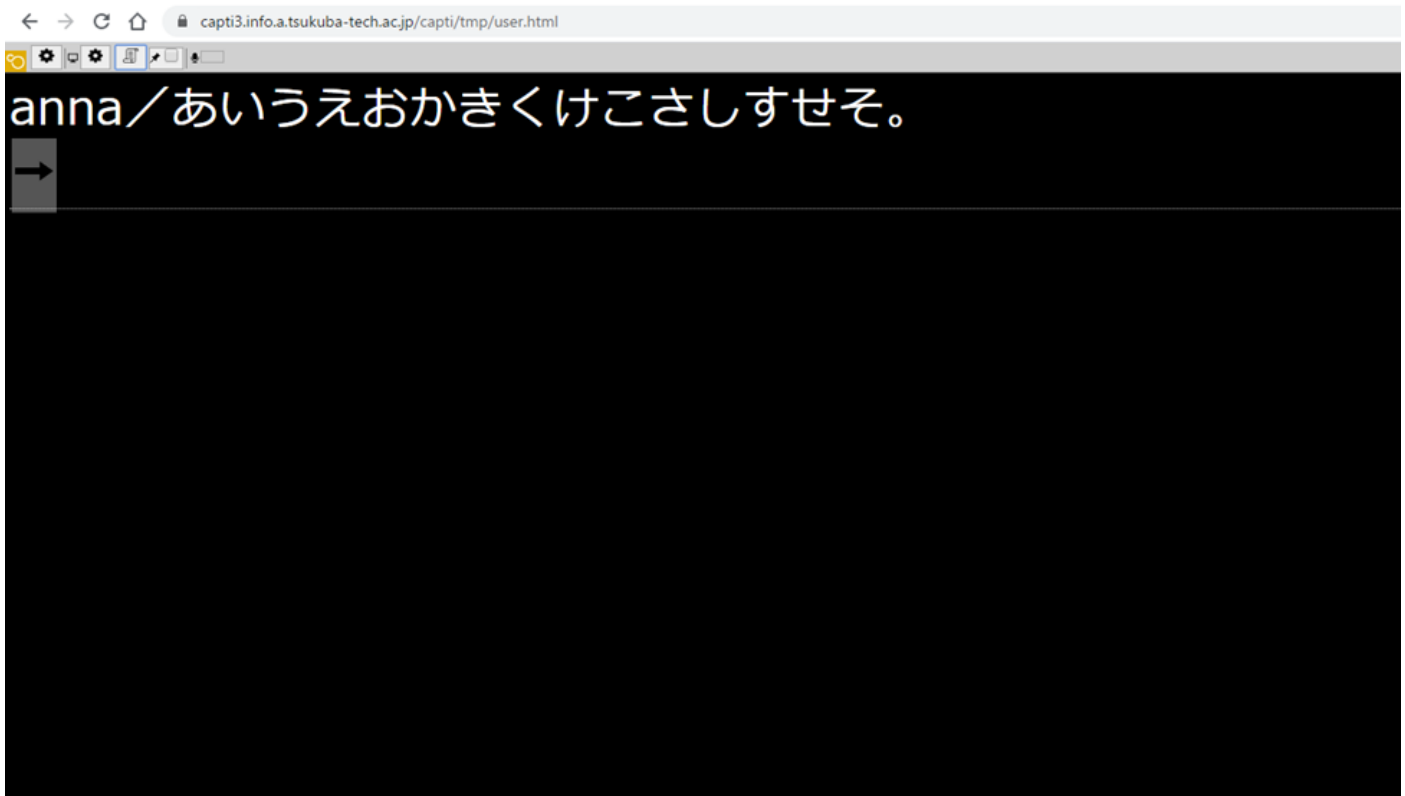


文字による連係入力はパソコン、スマホ、タブレットのいずれでも可能ですが、音声認識を利用する場合はパソコンで行ってください。

ちなみに、入力者が見る画面はこのような感じです



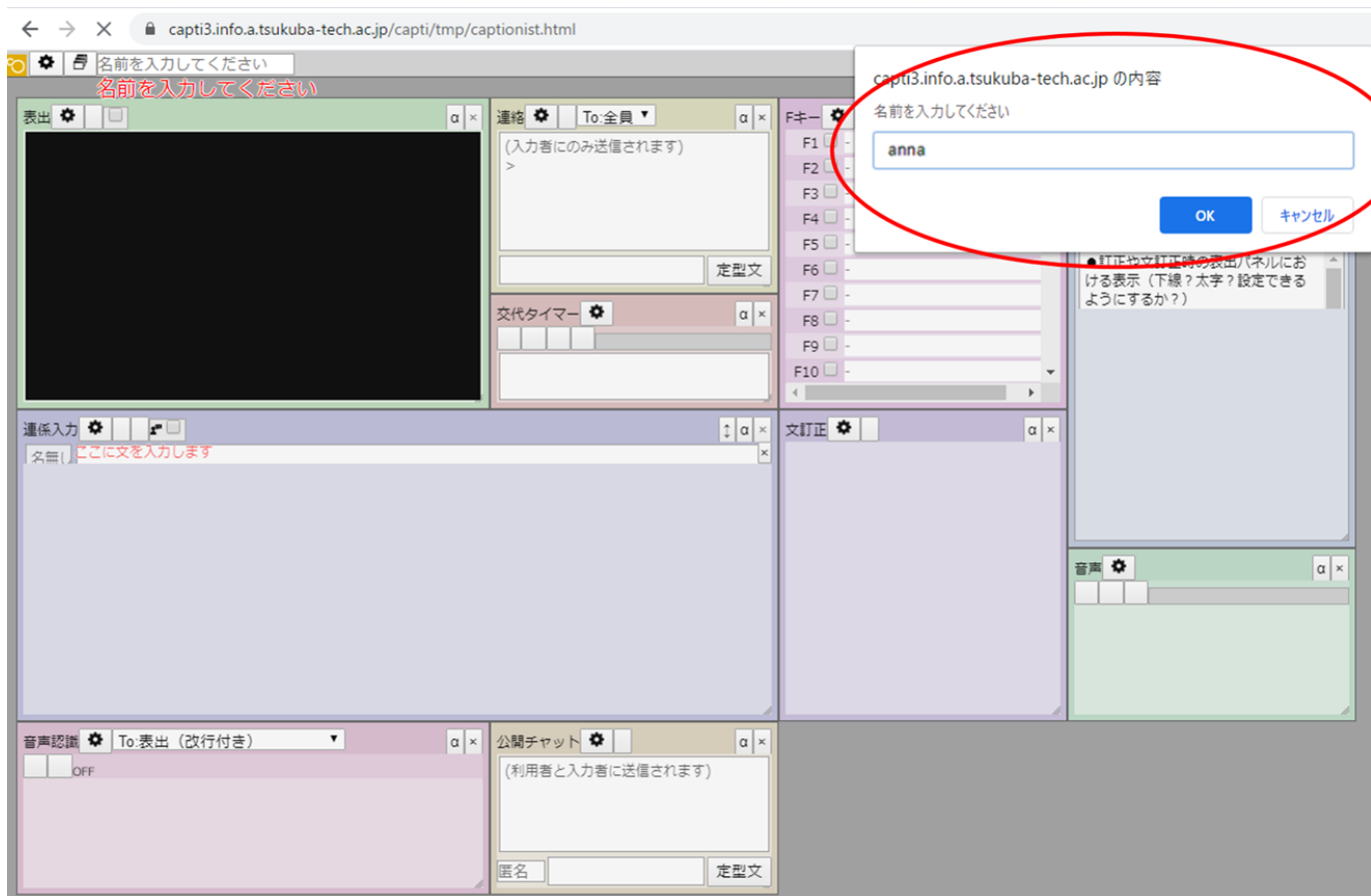
閲覧者が見る画面はこのような感じです(入力者用画面の左上にある表出画面と同じものが拡大表示されます)



名前を設定する

入力者ページのパソコンアイコンをクリックすると下記の画面が表示されるので、好きな名前を入力します。この名前は、チャットモードで音声認識を行う場合に発言者名として表示されます。（チャットモードの説明については後程お伝えします）

オンライン会議など、複数人でやり取りする際に、誰の発言かがわかるのでとても便利です。



マイクをパソコンにつなぐ

マイクをパソコンのマイク端子に接続します。パソコンの内臓マイクでも音声認識は可能ですが、音声認識の精度を高めるために別途マイクを接続することをお勧めします。

今回私が使用したのは数百円のピンマイクです👉



下図のようなマイクのついたヘッドホン(イヤホン)を使うと、両手も使えて、かつ口とマイクの距離も一定になるのでいいかもしれませんね



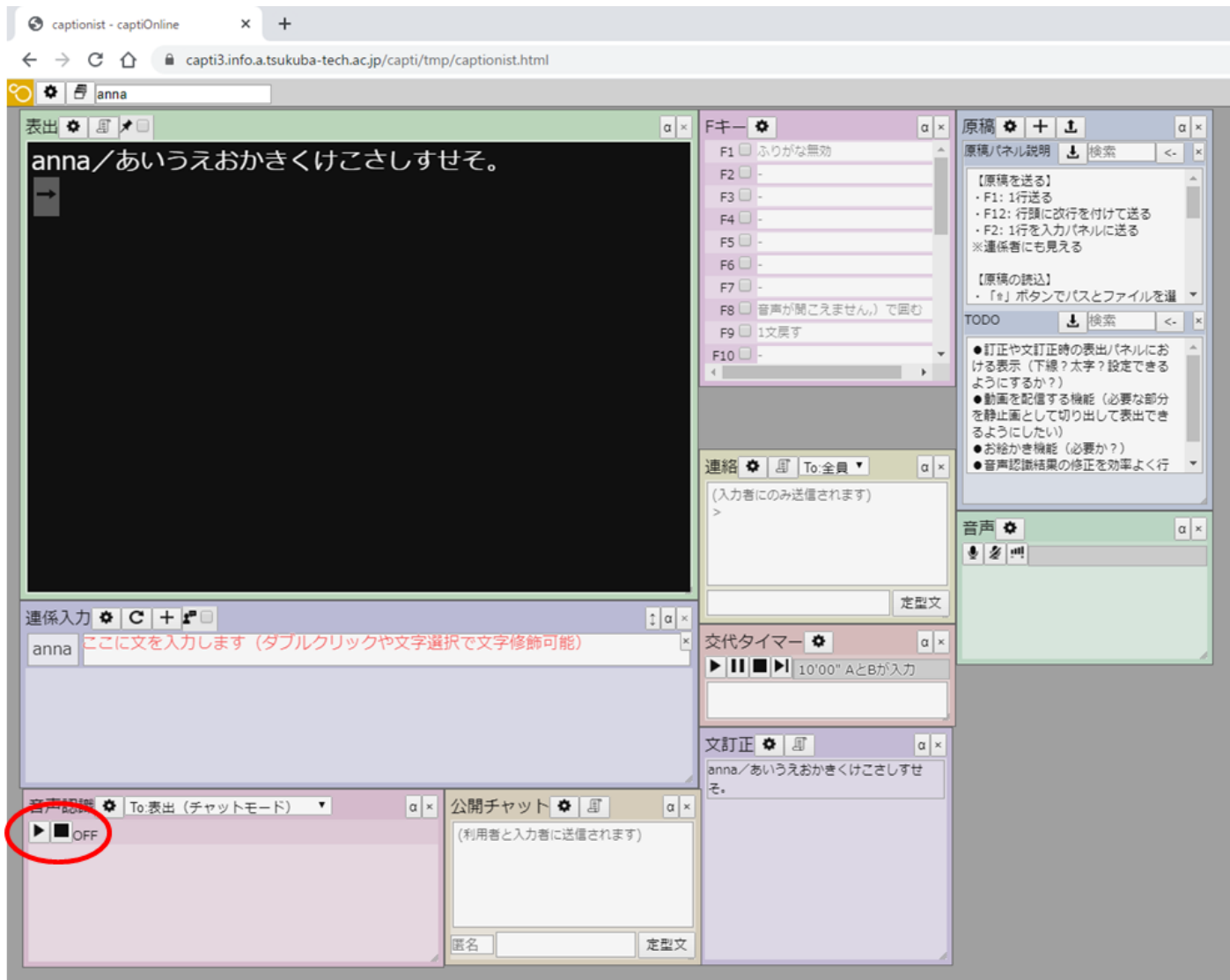
1,000 円前後から買えますよ。

ちなみに、captiOnline3 を実際に使用している要約筆記者の方に伺うと、音声認識の精度を高めるために指向性のある高音質 PC 用ボーカルマイクを使っているとのことでした(5,000 円くらいしたそうです)

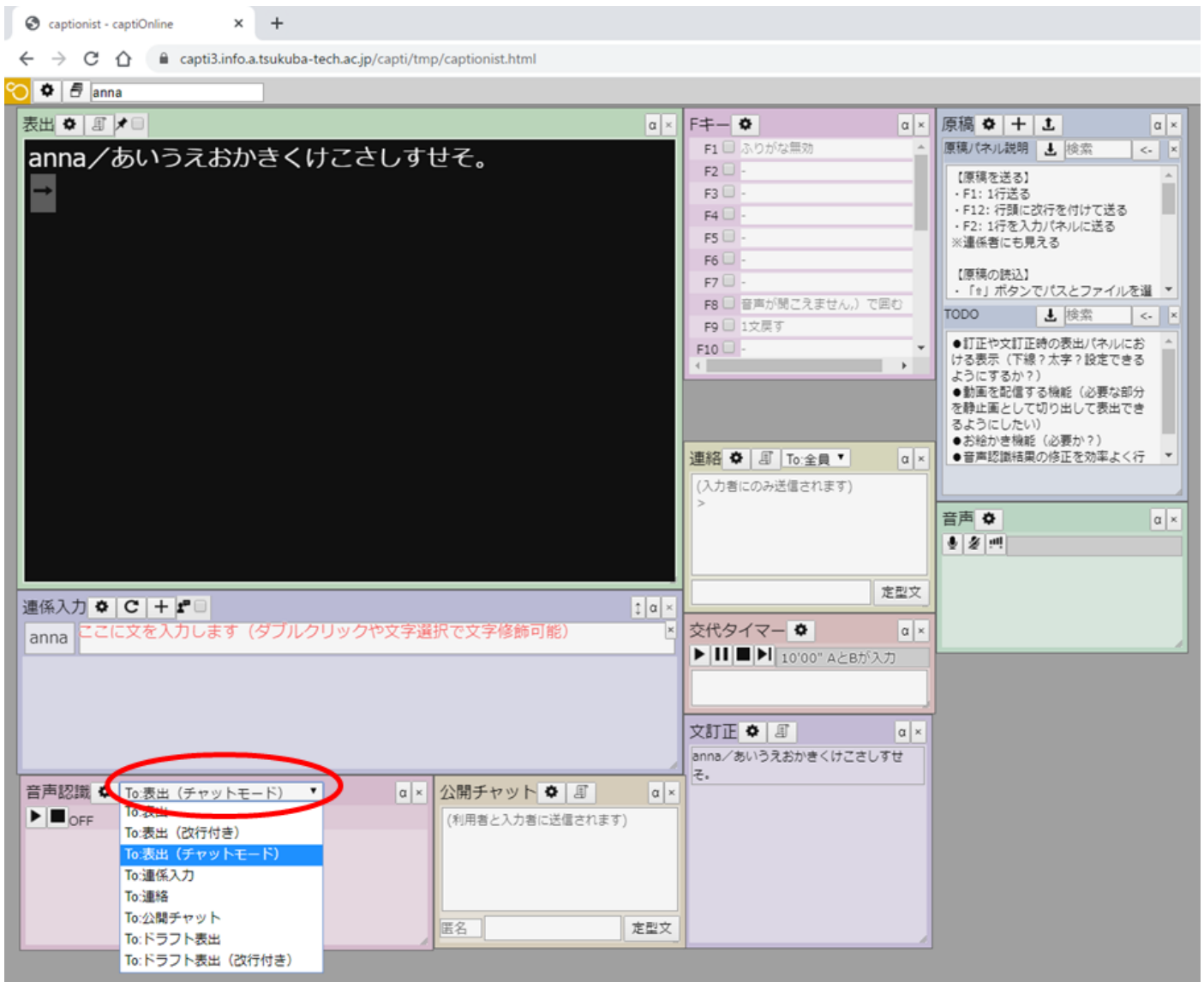


音声認識を行う

赤丸で囲った三角マークを押すと音声認識が始まります。四角マークを押すと音声認識が止まります。音声認識された内容は左上の黒い画面に表示されます。



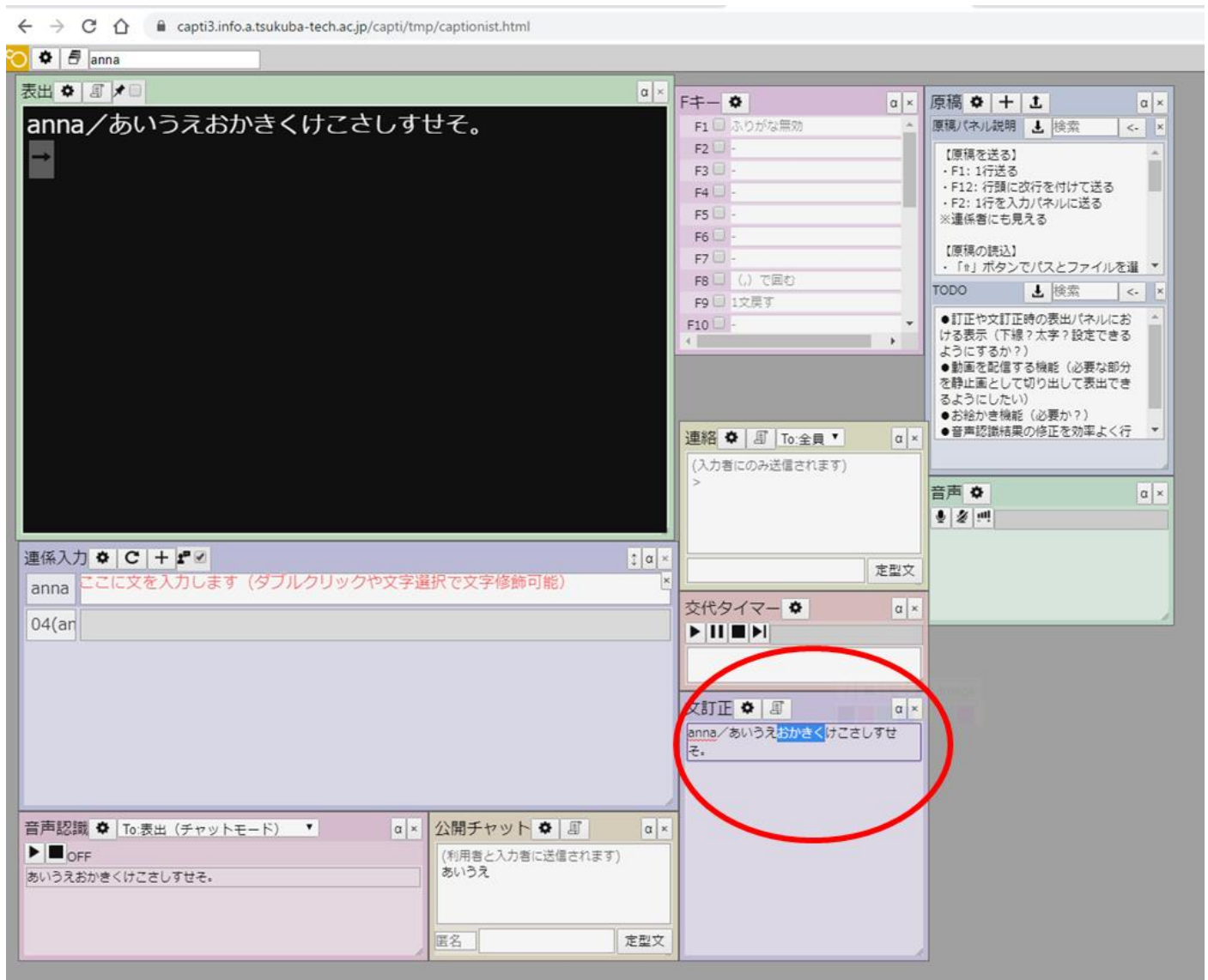
文字の表出方法を色々選択することができ、チャットモードにすると発言者の氏名が表示されます。



音声認識は、話し方によって認識精度が左右されます。できるだけはっきり話してください。

誤変換を訂正する

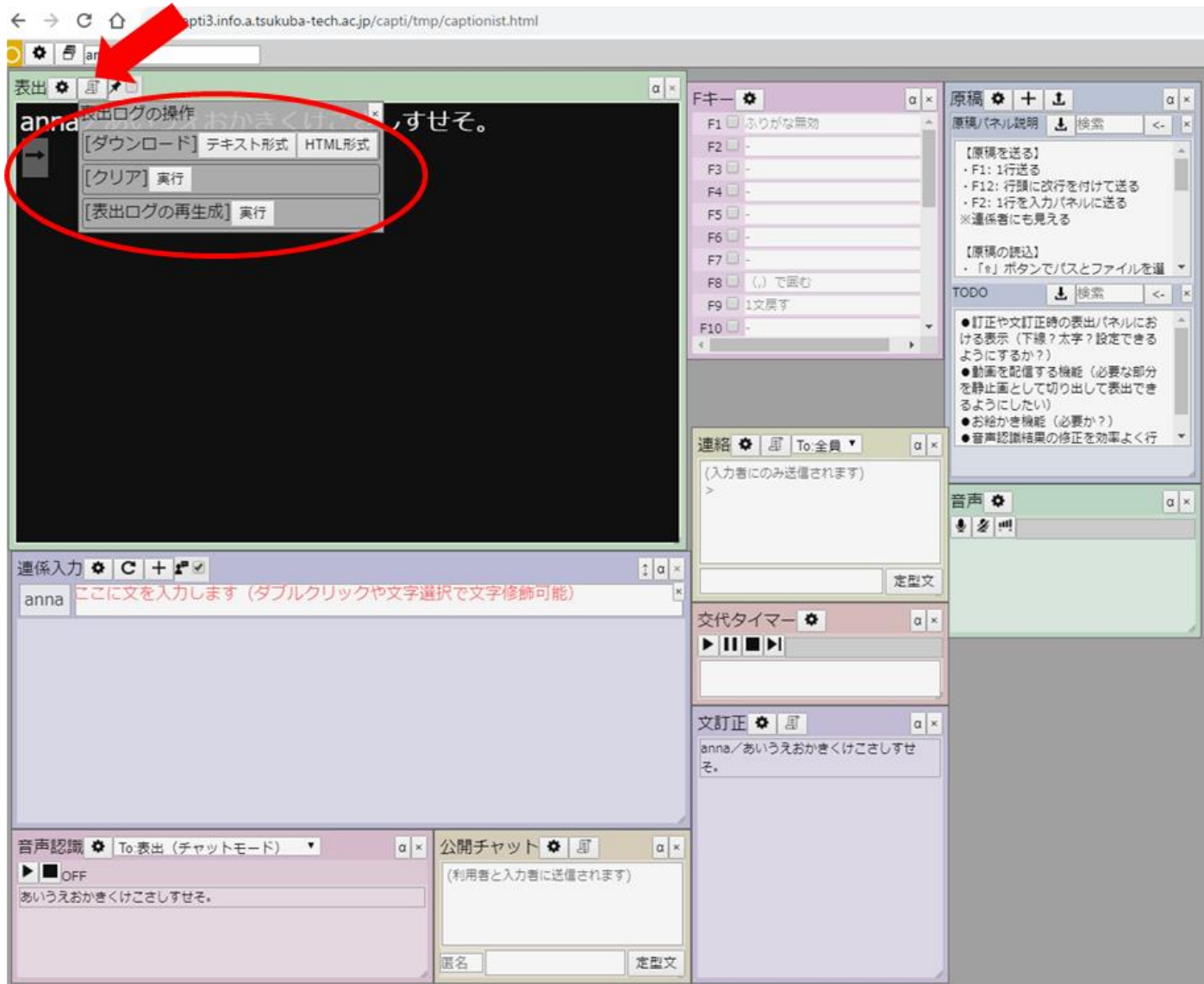
赤丸で囲んだ箇所で、誤変換部分をタイピングで修正することができます。修正された内容は即時に反映されます。



音声認識はどうしても誤変換が生じてしまうので修正する作業が必要ですが、captiOnlineは修正方法がシンプルでとても使いやすいです！

ログを保存する／消す

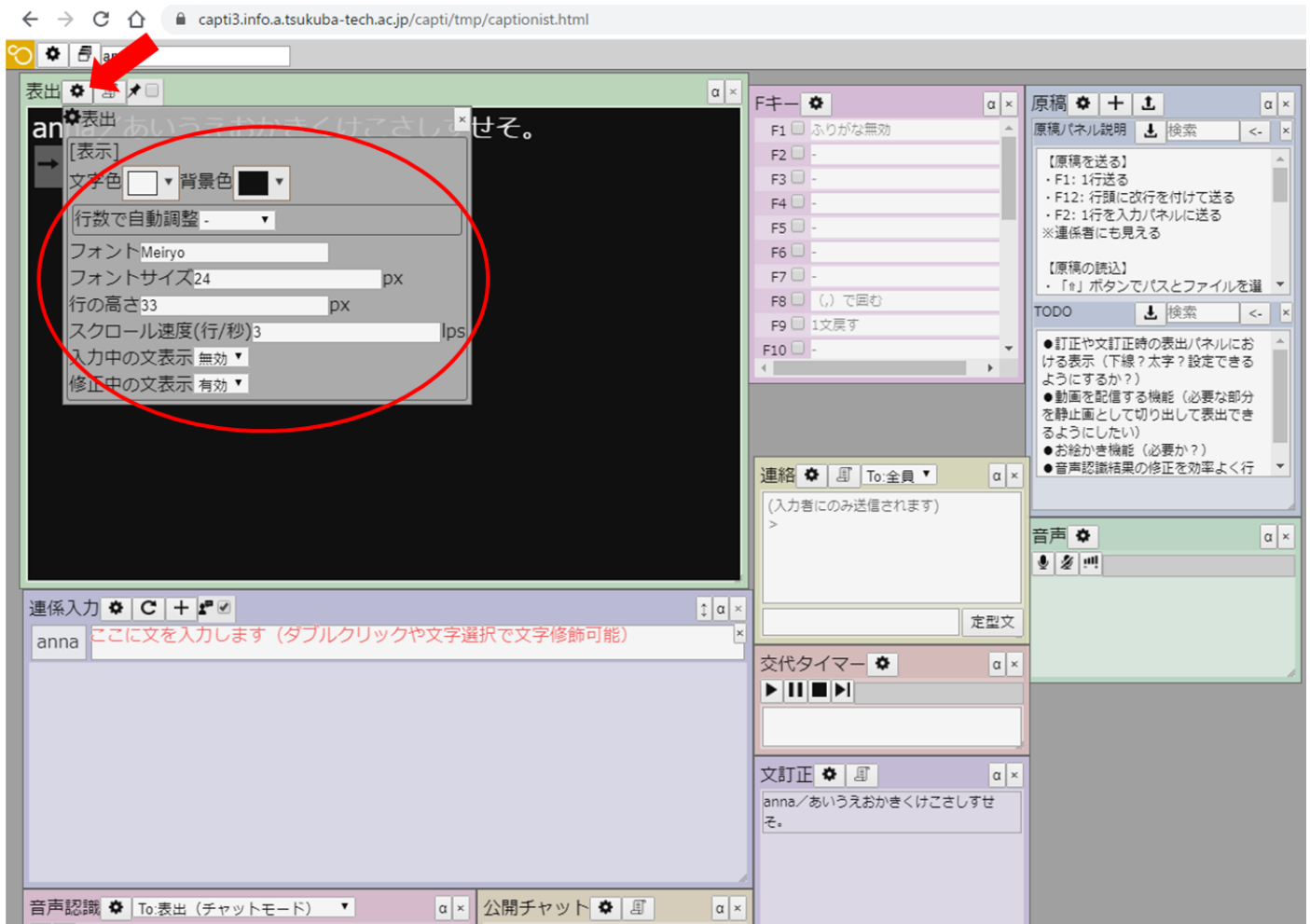
赤矢印のボタンを押すと、表示された文字をテキストとして保存したり消したりことができます。



保存したテキストは、会議の議事録や授業の板書代わりに活用できるので便利です。

文字の大きさや色を変更する

赤矢印の設定ボタンを押すと、文字の大きさや色の変更をすることができます。



入力者用ページ、閲覧者用ページともに、文字の保存や消去、文字の大きさや色の変更ができます。

お試しページを使って、音声認識による文字表示の基本的な使い方について説明しましたが、お試しページでは複数人が同時に画面を共有することができません。

なので、実際に会議や授業などで利用する際は、専用部屋の設定が必要になります。専用部屋を作ることで、該当する URL にアクセスすれば、複数人で同じ画面を共有することができます。専用部屋の作成依頼は筑波技術大学の若月大輔先生までお問合せください。

筑波技術大学産業技術学部産業情報学科
コミュニケーションサポート研究グループ
若月 大輔
waka@a.tsukuba-tech.ac.jp



<https://capti.info.a.tsukuba-tech.ac.jp/>で専用部屋一覧を見ることができます。

■ **お試し部屋 ※captiOnlineのお試しや、動作確認などにご利用ください**

- [captiOnline2_rp \(リバースプロキシ使用\)](#)
- [captiOnline3](#)

■ **筑波技術大学 コミュニケーションサポート研究グループ**

- [captiOnline2](#)
- [captiOnline2_rp \(リバースプロキシ使用\)](#)

■ **パソコン文字通訳者会ubiquitous (ユビキタス) [link](#)**

- [captiOnline2](#)
- [captiOnline2_2](#)
- [captiOnline2_3](#)
- [captiOnline2_4](#)
- [captiOnline2_5](#)
- [captiOnline2_6](#)
- [captiOnline2_rp \(リバースプロキシ使用\)](#)
- [captiOnline3](#)

■ **筑波技術大学 教育関係共同利用拠点 [link](#)**

- [captiOnline2](#)
- [captiOnline2_rp \(リバースプロキシ使用\)](#)
- [captiOnline3](#)

■ **産業情報学科情報アクセシビリティ研究者の部屋**

- [captiOnline2](#)
- [captiOnline2_rp \(リバースプロキシ使用\)](#)

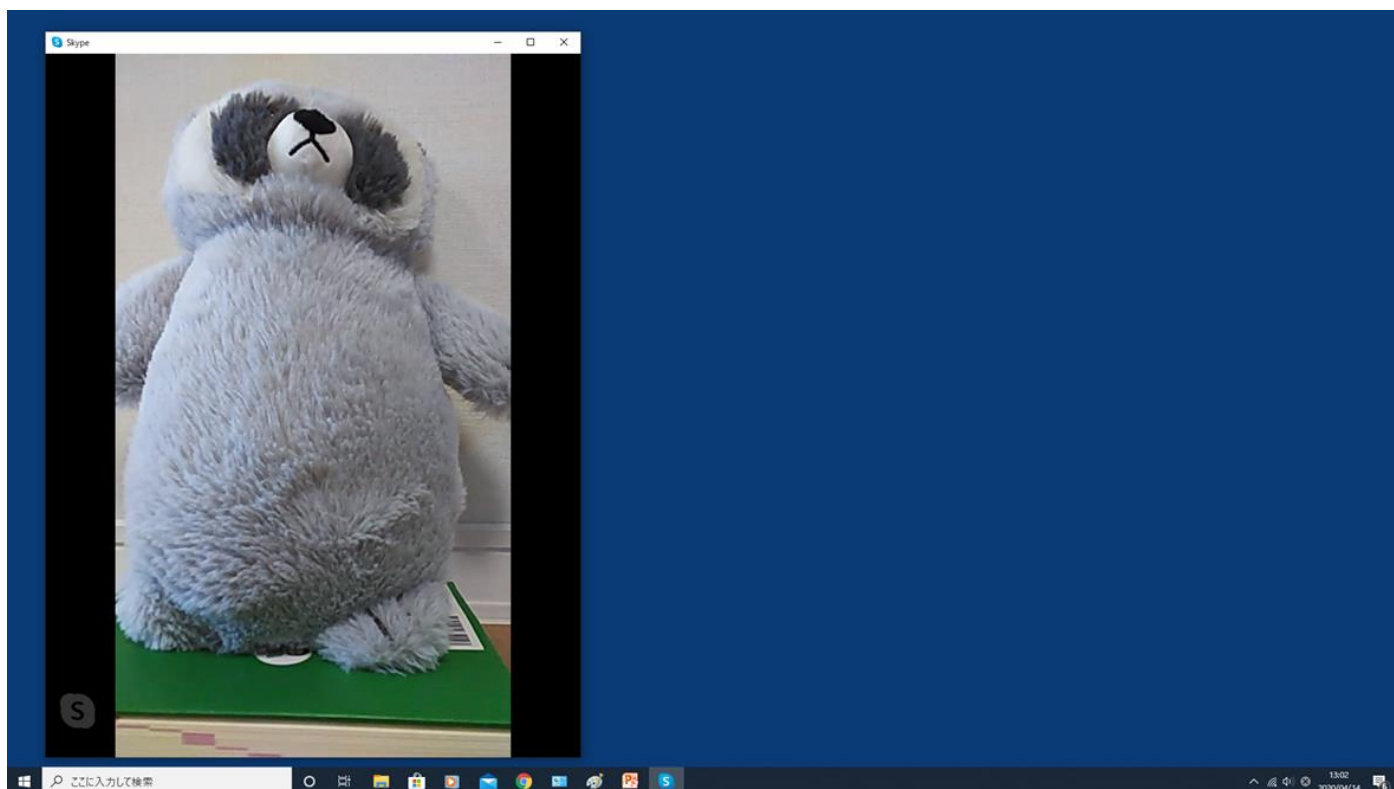
■ **4Tプロジェクト**

では、会議などオンライン時の使用を想定して、Skype と一緒に captiOnline を使う方法についてお伝えします。

captiOnline の専用部屋を作ってもらった前提で話を進めます。

Skype を立ち上げる

Skype を立ち上げて、デスクトップの半分くらいの大きさに縮小しておきます。



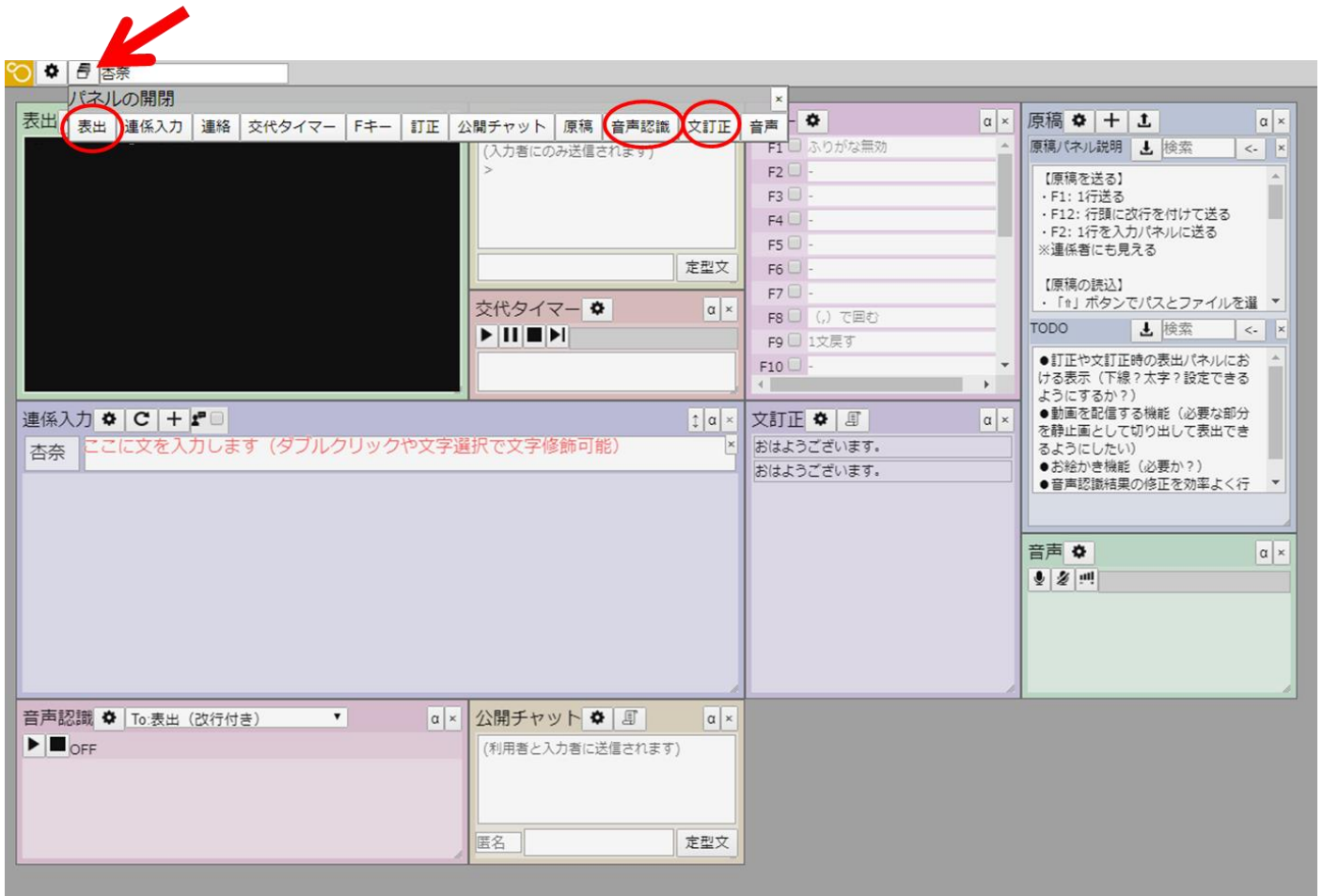
通話相手がアライグマですが、お気になさらず...

captiOnline の画面を並べて表示する

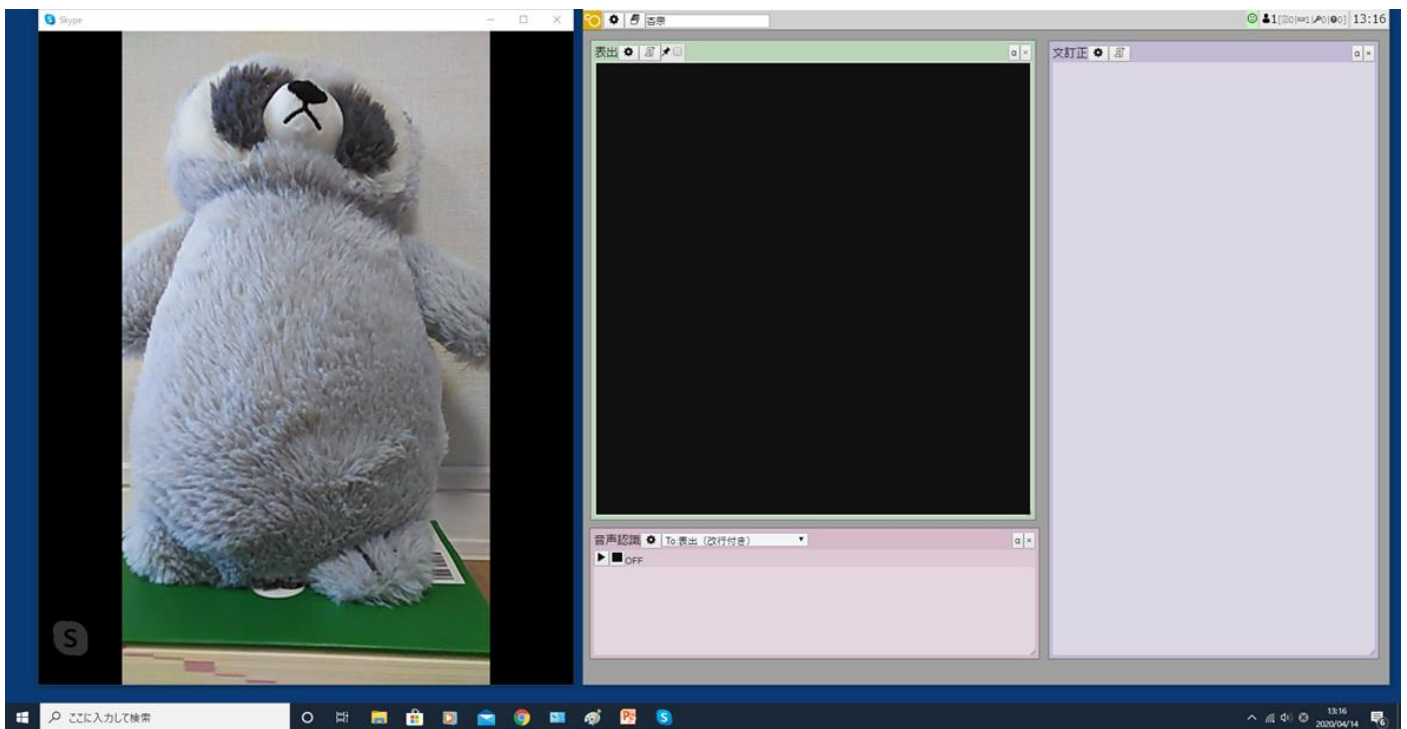
Skype 通話に参加する人は、<https://capti.info.a.tsukuba-tech.ac.jp/>から該当する専用部屋を探し、captiOnline3 をクリックします。パスワードを聞かれるので、指定のパスワードを入力してください。

通常、講演会などの要約筆記場面で captiOnline を使用する時は、閲覧者用画面と入力者用画面をそれぞれ利用しますが、オンライン会議などでは、難聴者自身も会話に参加する機会が多いと思うので、開くページは全員入力者ページで OK です。(あくまで個人的な見解です)

文字表示を見やすくするために不要なパネルは非表示にします。下図の赤矢印のボタンを押すとパネルの開閉が表示されます。それぞれのパネルをクリックすると非表示にすることができます。今回は音声認識のみを使うので、赤丸で囲んだパネル(表出、音声認識、文訂正)以外をクリックして非表示にしてください。



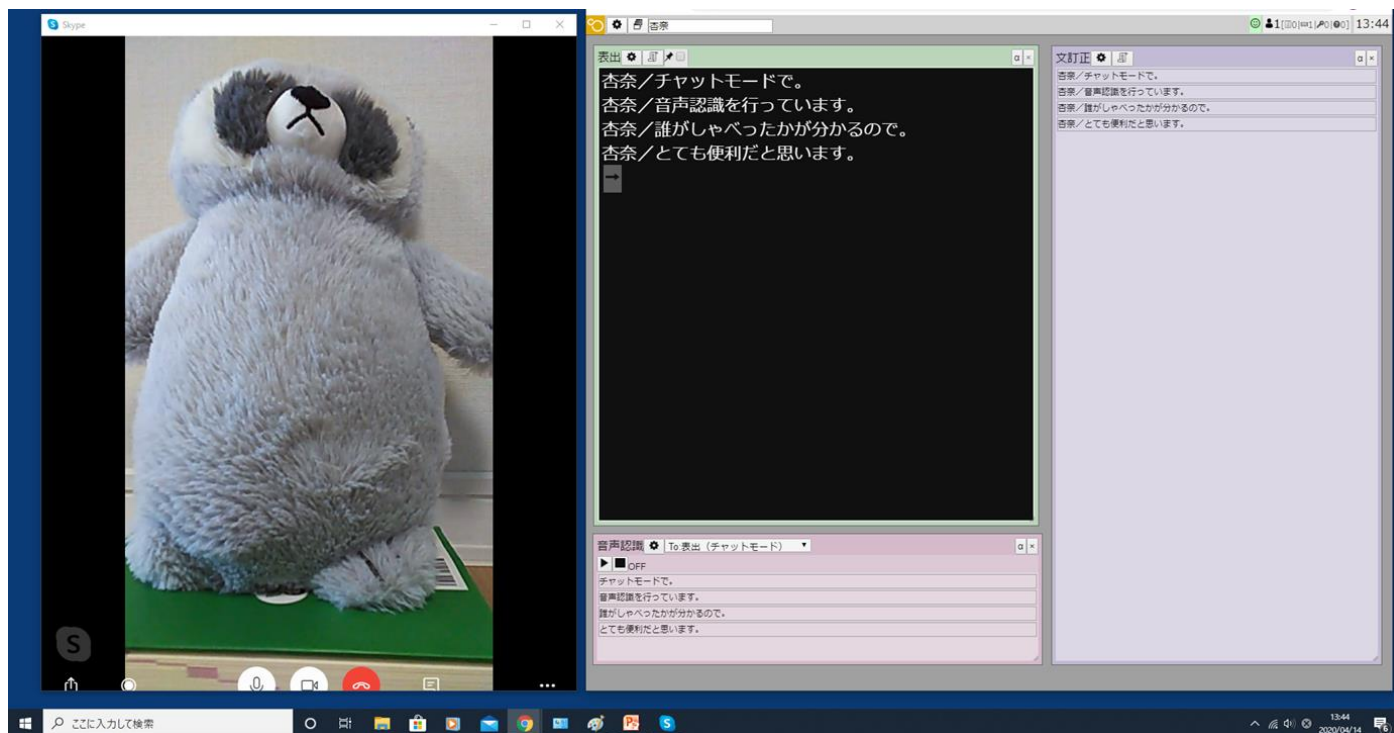
captiOnline の画面を縮小して Skype 画面と並べて配置します。表出、音声認識、文訂正のそれぞれのパネルの大きさや位置は変更できるので、見やすいように調整してください。



これで準備は OK です！あとは、captiOnline(音声認識)の使い方でお伝えした手順に沿って行ってもらったら大丈夫です。

実際の画面

実際に Skype 通話をしながら captiOnline (音声認識) で文字表示を行った様子はこちらです。今回は、Skype と captiOnline の画面配置を横並びにしていますが、見やすいように個人で工夫してみてくださいね。



captiOnline は、大掛かりな準備も不要で、専用部屋の URL にアクセスした人全員が同じ画面を共有できる、とても便利な仕組みです。議事録や板書の代わりとしても代用できるので、難聴者だけでなく、すべての人にとっても便利な仕組みと言えます。

聞こえにくさがあっても聴者と同等の情報を当たり前で得ることができるように、情報保障の一手段として captiOnline をぜひ試してみてくださいね。